

# 2021年12月期 第1四半期決算説明会

(第1四半期決算補足説明資料)

2021年5月14日  
株式会社キッツ

## 【注意事項】

本資料に記載されている当社及び連結子会社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。

## 1 第1四半期決算の概要

## 2 通期業績見通し

-補足データ-

# 1 第1四半期決算の概要

## 2 通期業績見通し

-補足データ-

# 決算期変更について

2020年12月期より、決算期を3月末から12月末に変更。2020年12月期は、9カ月の変則決算となった。

本資料では、2020年12月期第1四半期(4-6月)ではなく、2020年1-3月を「前年同一期間」として算出した参考数値(監査対象外)と比較している。

年	2020年3月期				2020年12月期				2021年12月期			
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
3月決算会社 (国内Gr会社)		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q
12月決算会社 (海外Gr会社)	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q

前年同一期間

当期

## 2021年12月期 第1四半期 業績

単位(百万円)

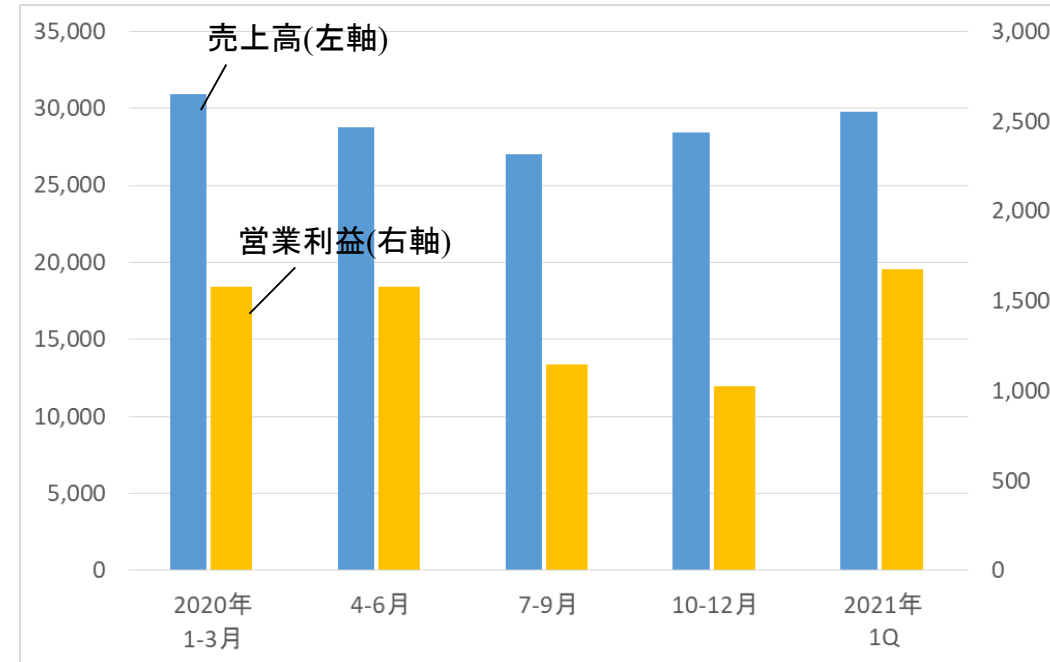
	2020年 1-3月 実績	2021年 12月期 1Q計画	2021年 12月期 1Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	30,891	27,820	29,772	▲1,119	▲3.6%	1,952	7.0%
内、バルブ事業	25,206	22,340	23,683	▲1,522	▲6.0%	1,343	6.0%
内、伸銅品事業	5,149	5,240	5,772	622	12.1%	532	10.2%
営業利益 (率)	1,577 (5.1%)	580 (2.1%)	1,677 (5.6%)	99	6.3%	1,097	189.2%
内、バルブ事業	2,598	1,490	2,433	▲165	▲6.4%	943	63.3%
内、伸銅品事業	▲37	100	187	225	-	87	87.6%
経常利益	2,203	540	1,694	▲508	▲23.1%	1,154	213.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,252	346	918	▲333	▲26.6%	572	165.5%
ドル:対円	109.12	104.00	107.15				
ユーロ:対円	120.09	126.00	128.45				
電気銅建値:円/トン	660,000	850,000	937,000				

注) 売上高及び営業利益は、バルブ事業と伸銅品事業のみを表示しておりますが、合計はその他を含む連結合計であるため、一致していません。

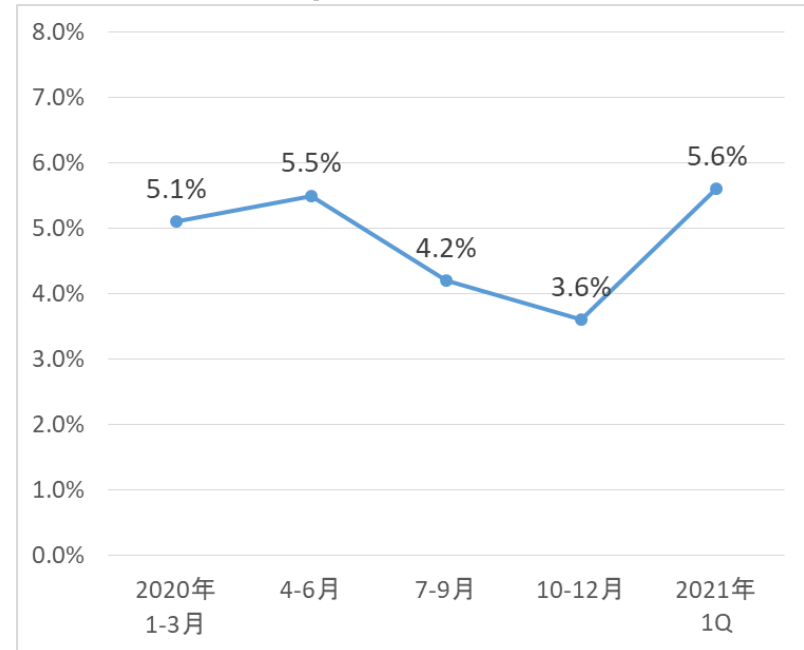
# 四半期(3ヵ月)業績推移

(百万円)

## 売上高/営業利益



## 営業利益率



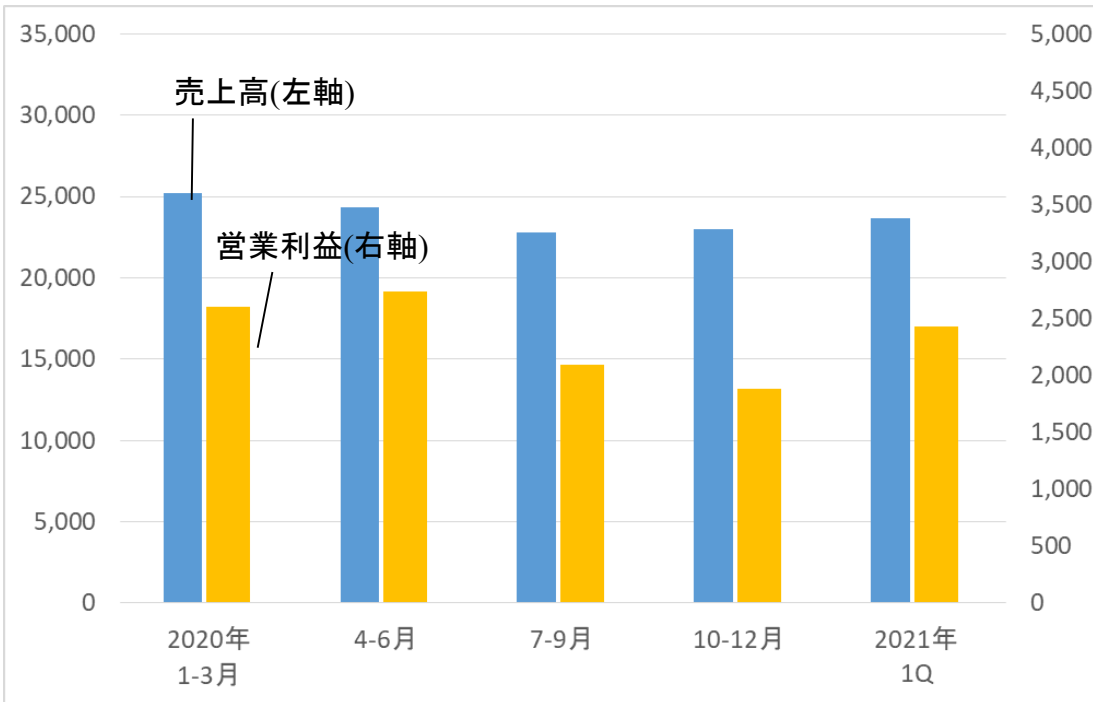
(百万円)

	2020年				2021年12月期
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1Q
売上高	30,891	28,745	27,053	28,446	29,772
営業利益	1,577	1,580	1,147	1,023	1,677
経常利益	2,203	1,363	1,076	730	1,694
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,252	839	837	437	918
営業利益率	5.1%	5.5%	4.2%	3.6%	5.6%

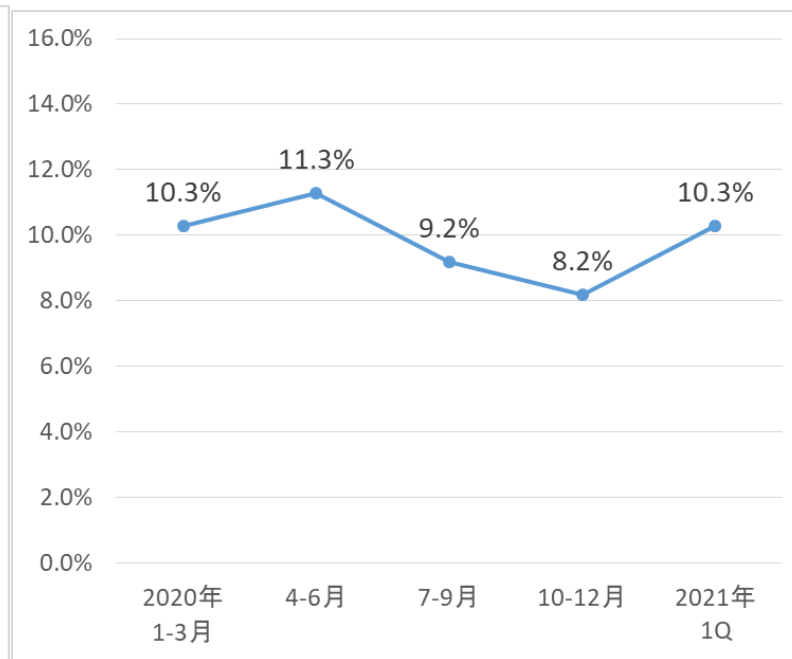
# バルブ事業 四半期(3ヵ月)業績推移

## 売上高/営業利益

(百万円)



## 営業利益率



(百万円)

	2020年				2021年12月期
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1Q
売上高	25,206	24,322	22,799	23,006	23,683
営業利益	2,598	2,739	2,091	1,877	2,433
営業利益率	10.3%	11.3%	9.2%	8.2%	10.3%

# バルブ事業 国内売上高(市場別)

前年同一期間比13億92百万円(8.4%)減の152億52百万円。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、建築設備向け中心の汎用バルブ・工業用バルブとも需要は低水準だが、3月は価格改定に伴う仮需が発生した(納入は4月以降)。水関連は、官公需が中心の上下水道向け及びフィルターは、引き続き堅調。半導体関連は、市場の急激な高まりにより、3月単月では過去最高に迫る月次売上高となり、計画を大きく上回った。

単位(億円)

	2020年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2021年12月期 1Q	対前年	
						増減額	増減率
国内 合計	167	156	150	152	153	▲14	▲8%
建築設備	70	62	60	61	62	▲8	▲11%
水関連	21	17	21	24	20	▲1	▲5%
半導体関連	17	18	16	19	23	6	35%
機械装置関連	18	17	16	15	14	▲4	▲22%
石油精製・石油化学	18	17	15	14	16	▲2	▲11%
一般化学	6	6	7	6	6	-	-
食品・製紙	5	5	5	5	5	-	-
ガス・電力	6	5	5	5	5	▲1	▲16%
大型プロジェクト物件	7	9	5	4	3	▲4	▲57%

注) 1 各市場で採用されるバルブの材質、形状の変化やトレンドを考慮し、2018年度より各市場に集計する製品群の一部を見直ししております。

注) 2 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。



# バルブ事業 海外売上高(エリア別)

前年同一期間比1億30百万円(1.5%)減の84億31百万円。中国・韓国の半導体向けは、国内と同じく非常に好調。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、中国を除く全エリアで継続。米州は、寒波による特需が発生したこともあり、計画を上回った。Oil&Gasを中心としたプラント関連需要は、少し動きが出始めている。南米MGAは好調を維持。アセアン・韓国他は、停滞が継続。中国は、データセンター向けを中心とした建築設備向け、工業弁ともに好調。Oil&Gas向け中心の欧州は、特に大陸で厳しい状況が続く。

単位(億円)

	2020年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2021年12月期 1Q	対前年	
						増減額	増減率
海外 合計	85	87	78	78	84	▲1	▲1%
アセアン・韓国他	29	35	30	29	32	3	10%
(内、半導体向け)	(5)	(8)	(5)	(6)	(8)	(3)	60%
中国	17	18	18	18	20	3	18%
(内、半導体向け)	(2)	(3)	(2)	(3)	(3)	(1)	50%
中東	1	2	1	1	1	-	-
アジア計	49	56	48	48	53	5	10%
米州(北米、中南米)	26	21	21	21	24	▲2	▲8%
欧州・その他	10	10	9	9	7	▲3	▲30%

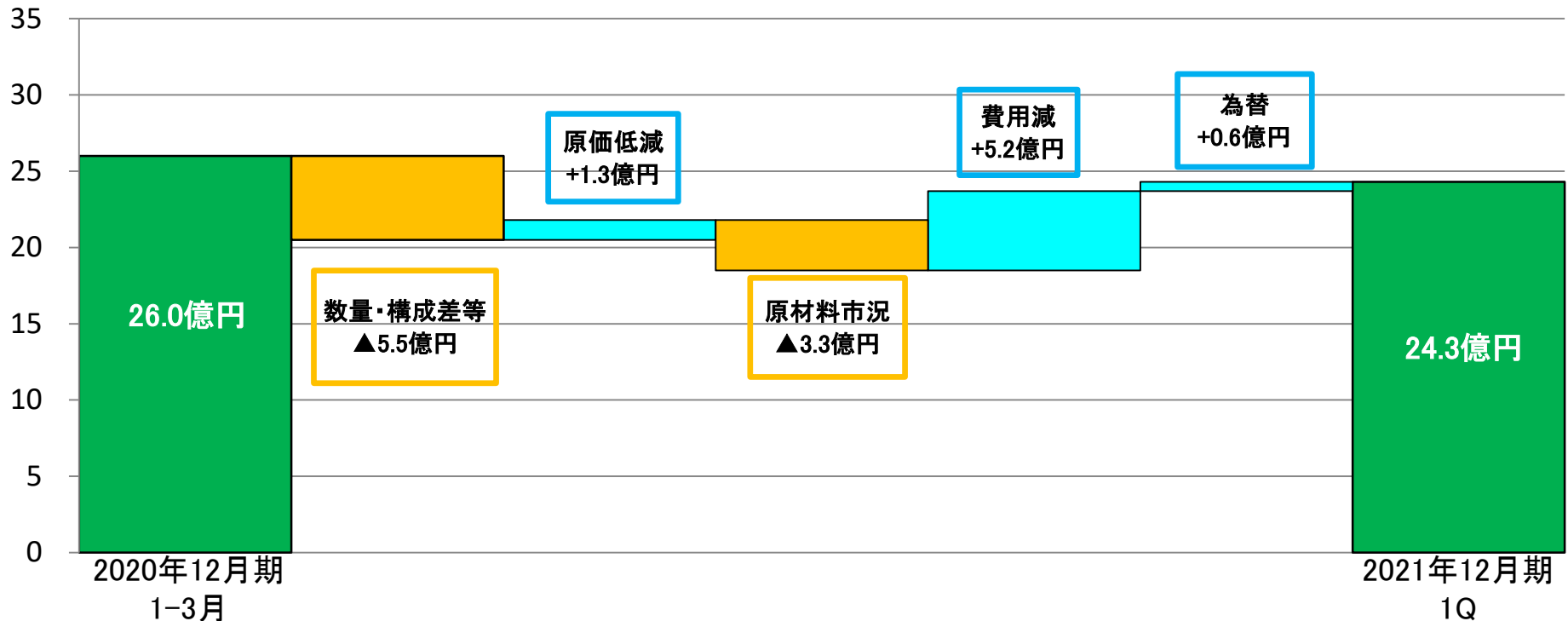
注) 億円単位で表示しているため、累計・合計が一致しない場合があります。

# バルブ事業 営業利益増減要因

単位(百万円)

	2020年 1-3月 実績	2021年 12月期 1Q計画	2021年 12月期 1Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	25,206	22,340	23,683	▲1,522	▲6.0%	1,343	6.0%
営業利益	2,598	1,490	2,433	▲165	▲6.4%	943	63.3%

(億円)



# 伸銅品事業の概要

## ■売上高について

売価に影響を与える原材料相場は、上昇が継続。需要回復により、生産量・販売量も増加。売上高は、前年同一期間比12.1%増の57億72百万円。

## ■営業利益について

生産量・販売量の増加により、1億87百万円の営業利益(前年同一期間は37百万円の営業損失)。

単位(百万円)

	2020年 1-3月 実績	2021年 12月期 1Q計画	2021年 12月期 1Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	5,149	5,240	5,772	622	12.1%	532	10.2%
営業利益	▲37	100	187	225	-	87	87.6%
電気銅建値:円/トン	660,000	850,000	937,000				



黄銅棒とその加工品



キッツメタルワークス 新工場

# その他の概要

## ■売上高について

ホテル事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続し、前年同一期間比41.0%減の3億16百万円。

## ■営業利益について

96百万円の営業損失(前年同一期間は89百万円の営業損失)。

単位(百万円)

	2020年 1-3月 実績	2021年 12月期 1Q計画	2021年 12月期 1Q実績	対前年		対計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	535	240	316	▲219	▲41.0%	76	31.7%
営業利益	▲89	▲110	▲96	▲6	-	13	-



長野県諏訪市のホテル紅や

# 連結営業外・特別損益の状況

単位(百万円)

	2020年1-3月 実績	2021年12月期 1Q実績	増減額	主な内訳
営業利益	1,577	1,677	99	
■営業外収益	-	307	-	伸銅品事業 助成金収入 (前期 300→当期 4) 伸銅品事業 ヘッジ差損益
■営業外費用	-	290	-	(前期 +95→当期 ▲121)
経常利益	2,203	1,694	▲508	
■特別利益	-	8	-	
■特別損失	-	6	-	株式評価損 (前期 ▲100→当期 0)
税金等調整前当期純利益	1,890	1,696	▲193	
法人税等	-	747	-	
当期純利益	-	949	-	
非支配株主に帰属する当期純利益	-	30	-	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,252	918	▲333	

# バランスシートの状況

売上債権の増加やたな卸資産の増加等により、資産合計は24億45百万円増加。

- 流動資産:現金及び預金の増加 5億73百万円 売上債権の増加 9億11百万円 たな卸資産の増加 16億24百万円
- 固定資産:有形固定資産の減少 1億72百万円 無形固定資産の減少 3億97百万円
- 負債:支払手形及び買掛金の増加 18億96百万円 社債の減少 2億37百万円 長期借入金の減少 5億42百万円
- 有利子負債は、8億21百万円減少し、485億31百万円(純有利子負債は13億94百万円減少し、142億38百万円)
- 純資産は、親会社に帰属する四半期純利益の計上、為替換算調整勘定の増加等により、18億76百万円増加

単位(百万円)

資産の部	2020年 12月末	2021年 3月末	増減額	負債の部	2020年 12月末	2021年 3月末	増減額
流動資産	81,765	84,825	3,060	流動負債	23,332	24,711	1,379
固定資産	58,916	58,301	▲614	固定負債	42,182	41,372	▲810
有形固定資産	42,303	42,131	▲172	負債合計	65,514	66,084	569
無形固定資産	6,211	5,814	▲397				
投資等	10,401	10,356	▲45	純資産合計	75,167	77,043	1,876
資産合計	140,681	143,127	2,445	負債・純資産 合計	140,681	143,127	2,445

# キャッシュ・フローの状況

- 営業活動CF: 税金等調整前四半期純利益16億96百万円、減価償却費16億44百万円、仕入債務の増加16億99百万円。売掛債権の増加、たな卸資産の増加はあったが、23億12百万円の資金の増加。
- 投資活動CF: 有形固定資産の取得による支出7億96百万円等により、6億81百万円の資金の減少。
- 財務活動CF: 長期借入金の返済による支出5億70百万円、社債の償還による支出2億37百万円、配当金の支払3億60百万円等により、14億71百万円の資金の減少。

単位(百万円)

	2020年 1-3月実績	2021年12月期 1Q実績	増減額	増減率
営業活動CF	-	2,312	-	-
投資活動CF	-	▲681	-	-
フリーCF	-	1,631	-	-
財務活動CF	-	▲1,471	-	-
現金等期末残高	-	34,027	-	-

# 第1四半期の主な経営指標

単位(百万円)

	連結	
	2020年 1-3月実績	2021年12月期 1Q実績
売上高	30,891	29,772
営業利益	1,577	1,677
経常利益	2,203	1,694
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,252	918
海外売上高比率	28.6%	28.9%
有利子負債	39,147	48,531
自己資本比率	56.0%	53.2%
BPS	-	849.10円
EPS	-	10.24円



# 1 第1四半期決算の概要

## 2 通期業績見通し

－補足データ－

## 2021年12月期 通期業績見通し

単位(百万円)

	2020年 1-12月 実績	2021年12月期						対前年 増減率
		1Q 1-3月 実績	2Q 4-6月	上期	下期	通期		
売上高	115,138	29,772	33,128	62,900	66,600	129,500	12.5%	
営業利益 (率)	5,328 (4.6%)	1,677	1,923	3,600 (5.7%)	4,100	7,700 (5.9%)	44.5%	
経常利益 (率)	5,372 (4.7%)	1,694	1,856	3,550 (5.6%)	3,950	7,500 (5.8%)	39.6%	
親会社株主に帰 属する当期純利 益 (率)	3,366 (2.9%)	918	1,182	2,100 (3.3%)	2,300	4,400 (3.4%)	30.7%	
ドル:対円	106.4					109.0		
ユーロ:対円	122.0					131.0		
電気銅建値: 円/トン	700,000					1,050,000		

&lt;ご参考&gt;

当初計画  
(2/12発表)

117,000

5,700

5,400

3,400

104.0

126.0

850,000

## セグメント別計画

単位(百万円)

売上高	2020年 1-12月 実績	2021年12月期						対前年 増減率
		1Q 1-3月 実績	2Q 4-6月	上期	下期	通期		
バルブ事業	95,335	23,683	26,117	49,800	51,900	101,700	6.7%	
伸銅品事業	18,102	5,772	6,728	12,500	13,300	25,800	42.5%	
その他	1,699	316	284	600	1,400	2,000	17.6%	
計	115,138	29,772	33,128	62,900	66,600	129,500	12.5%	

&lt;ご参考&gt;

当初計画

(2/12発表)

95,000

19,600

2,400

117,000

営業利益	2020年 1-12月 実績	2021年12月期						対前年 増減率
		1Q 1-3月 実績	2Q 4-6月	上期	下期	通期		
バルブ事業	9,306	2,433	2,766	5,200	5,600	10,800	16.0%	
伸銅品事業	▲185	187	162	350	300	650	-	
その他	▲344	▲96	▲54	▲150	150	0	-	
調整額	▲3,449	▲847	▲952	▲1,800	▲1,950	▲3,750	-	
計	5,328	1,677	1,923	3,600	4,100	7,700	44.5%	

9,000

400

20

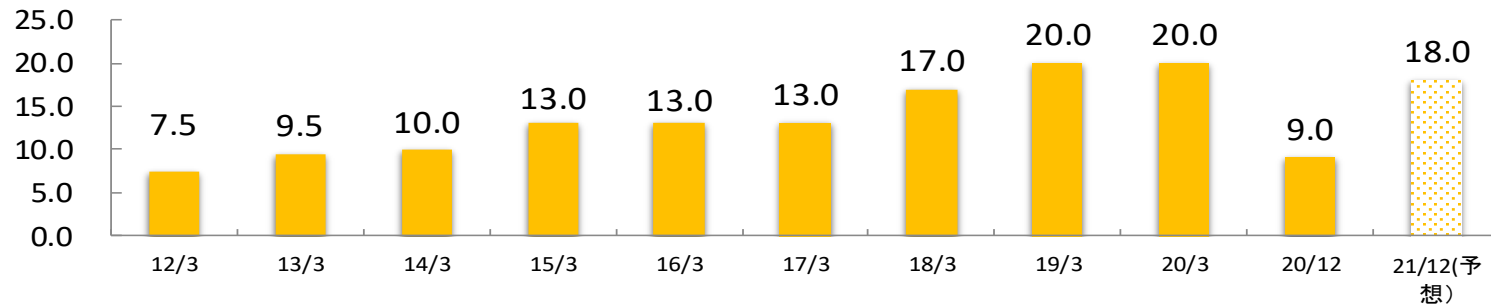
▲3,720

5,700

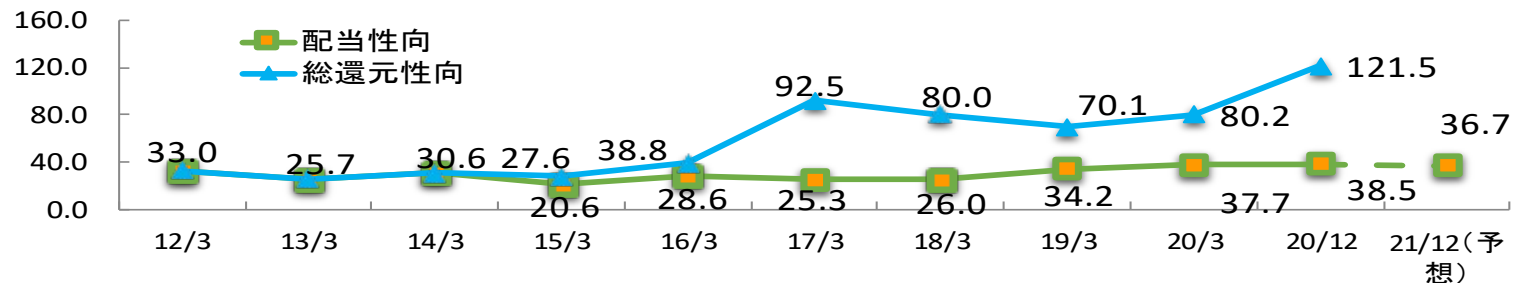
# 株主還元方針

配当性向は、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準と考えている。2021年12月期は、1株当たり年間14円(第2四半期末5円、期末9円)を計画していたが、業績予想の修正に合わせ、18円(第2四半期末9円、期末9円)の配当予想とする。連結配当性向は、親会社株主に帰属する当期純利益の36.7%となる見込み。

## <年間配当金推移>



## <配当性向、総還元性向推移>

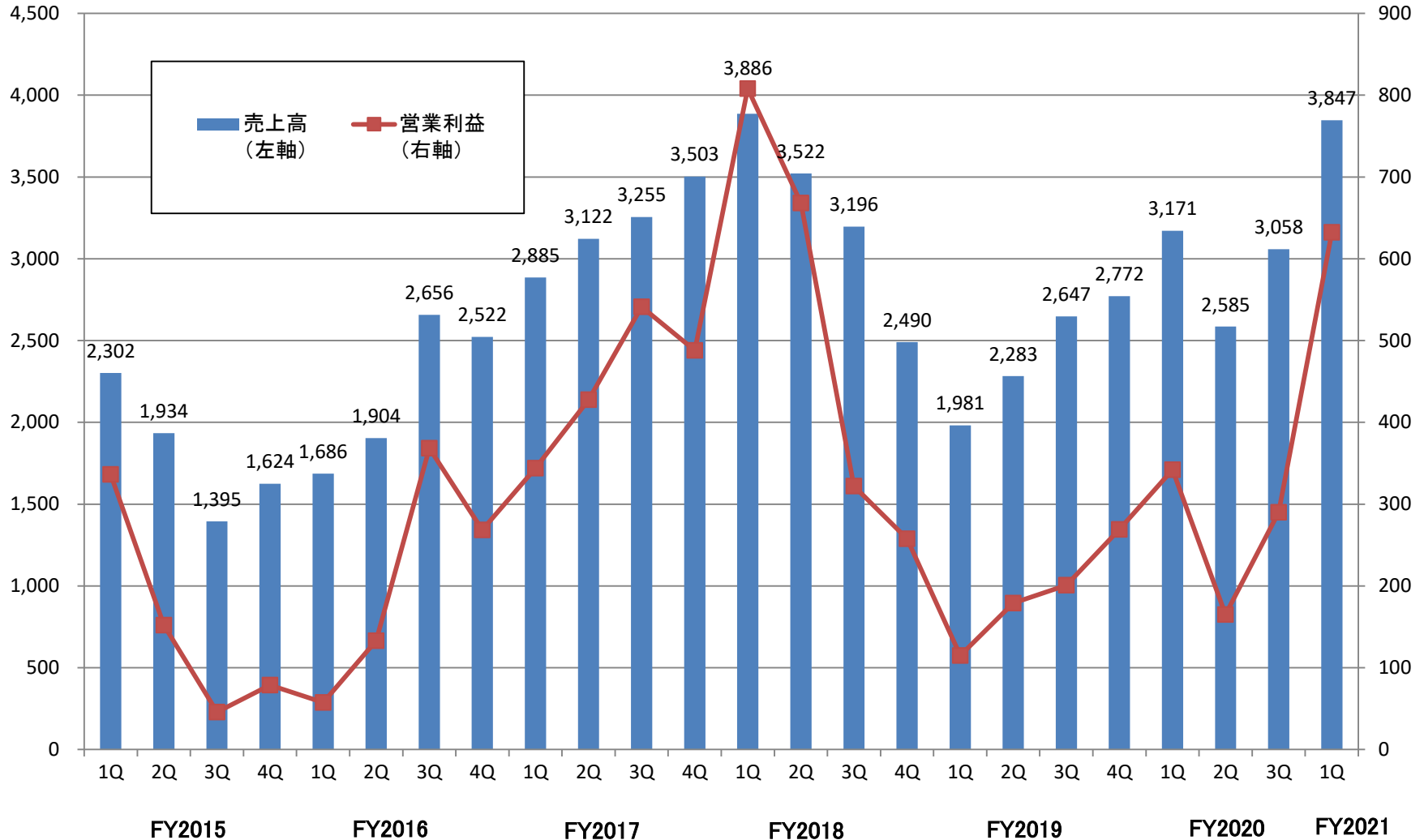


# KITZ

**ご清聴ありがとうございました。**

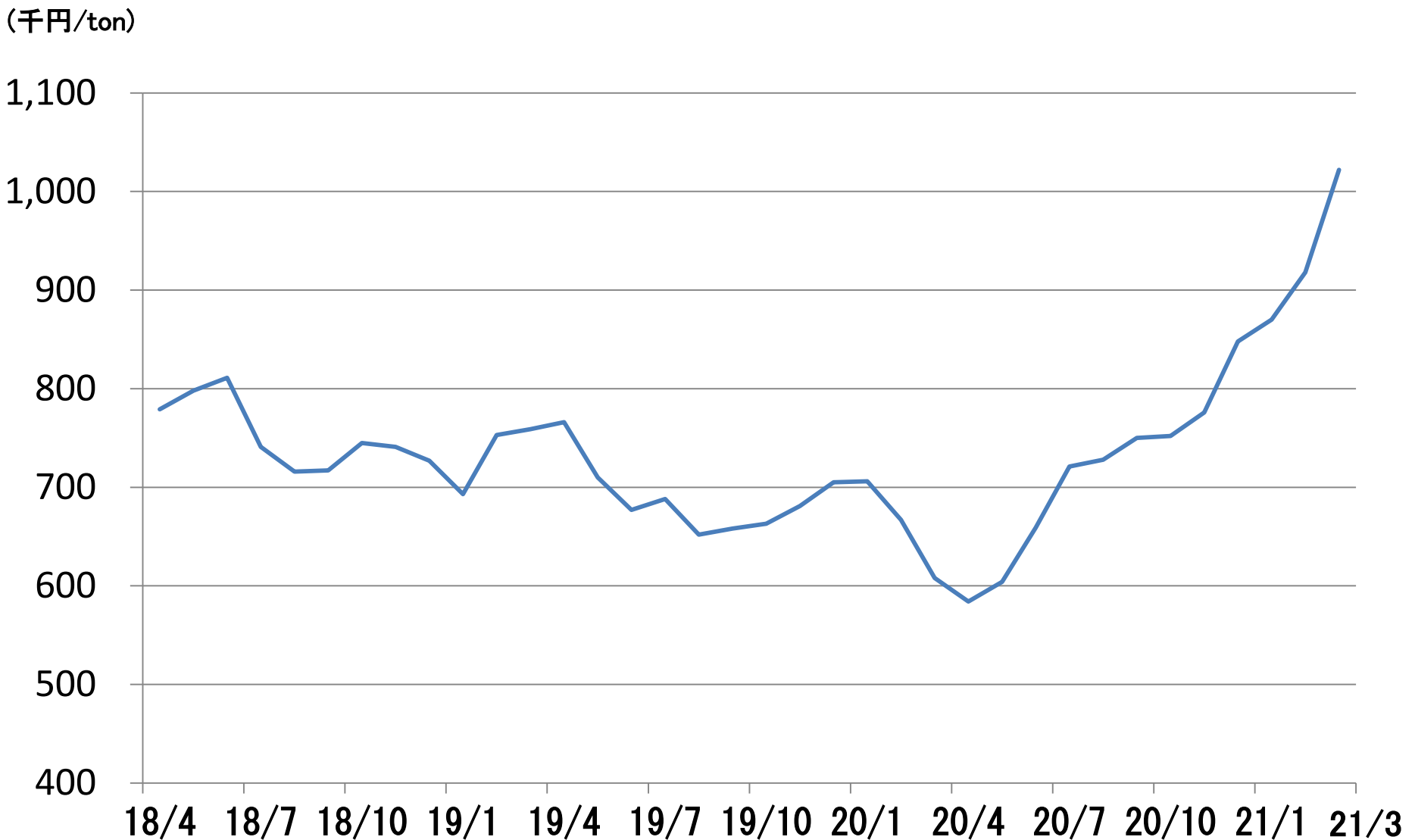
# 四半期業績推移(半導体向け)

(百万円)



- ・半導体向け製品を製造・販売する株式会社キッツエスシーティの売上高・営業利益を四半期(3カ月)毎に表示。
- ・連結消去前のため、連結決算数値とは差異があります。

# 電気銅建値推移



# 原油価格推移

(USD/バレル)

